

平成25年12月現在

防災ヘリ訓練の様子



ごあいさつ

院長 原田 和 則

今年の夏は記録的な猛暑であり、しかもいつまでも暑い夏でした。その後の季候はといえば秋らしい秋を十分に味わう間もなく、いつの間にか冬モードに突入したような印象です。センターでは今夏にオープンしました新外来棟、さらには天草医療圏内の救急医療のためのヘリポートの運用開始から、すでに3ヵ月余となりました。この事業によりまして医療センターの箱ものとしての拡充という意味ではほぼ完成したと考えてよろしいかと存じます。

外来棟では来院された患者さんやご家族からも、広くてゆったり出来るとお誉めの言葉をいただいております。とくに待合いの椅子についてはかなり考慮しましてハイバックの腰掛けやすい良いものを揃えましたので、疲れないうちのお声が多く聞こえる評判がよいようです。一方では広くなった分、不案内な方々の診療における動線の理解などに多少の不安がありました。その様な方々のお役に立てるようにとロビーに数名の「コンシェルジュ」を配置致しました。彼女達には私の予想以上の働きをしてもらっているようで、本人達も時にはお誉めの言葉をいただいているようです。このような仕事を通して"他人に対する優しさやきめこまかい配慮"などを自己習得してもらえたらと、私自身はひそかにニンマリしているところです。

2階に拡充して移設しました外来化学療法室も各ベットを半個室化して、それぞれを窓に向かって配置しております。落ちついてゆったりと治療を受けられると満足していただいております。高

次脳機能障害室、心大血管リハビリ室を加えて広くしましたリハビリ部門も眺望を考慮した広い窓ガラスを設けておりますので、のびのびと楽しみながらリハビリに励んでいただけると幸いです。

既存の入院病棟でも210床すべての病室のベットを離床センサー内蔵の最新式電動ベットに総入れ替え致しました。手もとスイッチですべての動作が可能となり、不自由な入院生活が少しでも快適になればと思っております。また、高齢の患者さんが多いので離床時の転倒事故が重要な課題となっておりますが、これらの事故防止にも役立つことが期待されます。

さて、お陰様で天草地域医療センターも、開院22年目になりました。この間ハード、ソフト両面にわたって色々と整備・拡充してまいりましたが、組織の要はやはり人でございます。「人は石垣、人は城…」などと申しますが、これまで医療センター

が頑張ってきたのも、一緒に頑張ってくれた職員あってこそと思います。前号で職員1人1人が「この病院」ではない「わたし達(うち)の病院」という当事者意識の高い、前向きな意識をつよく持って欲しいと書きました。少しずつでもいいのでモチベーションの高い意識改革の気風が育ってくれて、地域住民の幸せにさらに貢献していけるように願っております。



「医療センター開院21周年外来棟・ヘリポート落成」記念式典、祝賀会について

事務部 経理課長 福本 知貴

平成25年8月17日(土)に「天草地域医療センター開院21周年 外来棟・ヘリポート落成」記念式典、祝賀会が行われました。

お盆休みの土曜日でしかも記録的な猛暑の中での式典および祝賀会でしたが、県・市・町他関連行政、県・各郡市・当医師会、医科・歯科・薬剤・看護関係、センターOB、地元近隣の方々など約100名のご臨席をいただいて、事務局・センター職員とともに盛大に祝うことが出来ました。

当日のスケジュールは、

- 12:30～13:30 内覧会
- 14:00～15:00 落成記念式典
(ヒポクラート 14時～)
- 15:00～ テープカット
- 15:00～15:40 防災ヘリ訓練
- 16:00～ 落成記念祝賀会
(天草シーサイドホテル 於)



テープカット



落成記念式典

防災ヘリ訓練は15時～15時40分と予定時間が決まっていたので記念式典の終了時間15時と防災ヘリ訓練の間にテープカットができるのかとても心配されましたが、記念式典は14時45分頃終了し、すこし慌ただしかったのですがテープカットも15時まで終了する事ができました。

私は、テープカットの担当で、わからない事ばかりでしたが貴重な体験となりました。

お陰様で記念式典、祝賀会は無事終了し、新しくなった外来棟も8月26日よりスタートしました。天草地域医療センターも開院して22年目を迎え、今後も地域の医療を支える地域医療支援病院・中核病院として職員一同頑張っていきます。

お忙しい中にご出席いただいた方々、また式典・祝賀の準備にご苦労いただいた大堂孝文副会長始め、医師会の方々、医療センターの職員たちにお礼申し上げます。



天草シーサイドホテルにて落成記念祝賀会



防災ヘリ訓練の様子



防災ヘリ「ひばり」



「ひばり」の隊員の方達との記念撮影



新外来棟から

外来看護師長 川上 泰代

1年ほど前から院長はじめ医師会の先生方や職員・スタッフ等と会議や準備を重ねて待ちに待った外来棟が、平成25年8月26日にオープンいたしました。

今回、課題の診療室やプライバシーの問題・待合室や患者さんが休めるスペースが確保できたことに感謝しています。救急外来においてもプライバシーの確保がなされ、小児科では専用の待合室・トイレ・授乳室を完備し、小児科らしく明るい雰囲気になっています。2階の化学療法室では快適に治療が受けられるようにと外の眺めも良く、落ち着いた雰囲気で患者さんを中心に考えられています。

期待と不安の中、はや1ヶ月が過ぎました。患者さんからは「ホテルに來たみたい」と笑顔で声をかけて頂きますが、広くなった分どこに行けばいいのか戸惑いも多いようです。しかし、職員や各部署の協力もあり大きなトラブルもなく対応できています。

9月1日よりヘリポートの運用もスタートし、外来での受け入れや搬送だけでなく病棟患者さんの搬送にも利用され、迅速に検査や治療・看護が受けられるようにと心掛けています。

外来棟が広がった分、限られた人数での対応で何かと迷惑をお掛けすることかと思いますが、建物に負けないよう安全で安心できる質の高い看護が提供できるようスタッフ一同努めていきたいと思っています。皆様のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。



新外来棟救急外来



新外来棟バックヤード



新外来棟処置室



半個室化された化学療法室



化学療法室待ち合いスペース



小児科外来待ち合い室



リハビリ室が新しくなりました!!

リハビリテーション部 士長 緒方 智子



外来棟が完成し、8月26日よりリハビリ室が外来棟2階へ移転しました。前面は総ガラス張りで十万山の裏山が青々としてとても眺めのいい部屋です。面積も広くなり開放感あふれる部屋でゆったりと歩行訓練を行うことが可能となりました。今回の移転を機に高次脳機能障害室を設け、心大血管リハビリテーション室を増設しました。高次脳機能障害室は脳血管疾患の患者様の評価・訓練を個別に集中して実施することが可能となりました。心大血管リハビリテーションの増設は天草に数少ない施設基準で、

循環器の先生方やスタッフと力を合わせて天草の循環器疾患の患者様の早期離床・早期退院が可能となるよう、また、心疾患の再発予防、二次的心疾患の予防に繋がる様取り組んでいきたいと思っております。一日100名超えの患者様が来室されています。患者様からも「広がって動きやすいね」「見晴らしが良いのでもう少し頑張る」との声も聞かれ、意欲も向上しているようです。これからもリハビリテーション部一同、より良いサービスが提供できるよう精進してまいりますのでよろしくお願い致します。





心ある医療スタッフへ

総合受付 主任 高木 かおる

新外来棟が稼働し、早いもので2カ月が経とうとしています。私共医事課総合受付の大きな役割として「患者様のご案内」があります。

想像以上に広がった外来待合室。案内掲示物は必要最小限。迷われることなく、院内を移動していただけるのか、不安を抱えたままのスタートでした。やはり、用意したフロアマップだけでは不十分。他部署からの協力によって、案内係を配置。積極的に挨拶、声かけを行い、患者さまの不安や不満を取り除きながら、病院内を速やかにご案内することに努めました。もう少し案内掲示を増やした方がとの意見もありましたが、結果、職員全員が案内係となり、患者様との会話も、ころなしか増え「患者様との距離が近くなった」ような気がします。基本理念にあるように、患者様の立場を尊重し、その信頼と期待にこたえ誠実に『心ある医療』を心がけていきたいと思っています。



広々としたホスピタルモール



総合案内



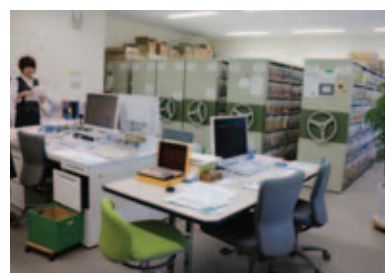
新外来棟スタッフステーション



コンシェルジュ対応の様子



開放感溢れるエントランスホール



新外来棟 医事課

勤務体制の見直し

看護部長 樋口 友子

看護部では、平成21年度より毎年「安心して働ける職場づくり」を目標に入れ、これまで取り組みを行ってきました。現在の看護部は、平均年齢36歳で既婚率は47%であり、働き続けられる職場づくりはとても大切であると思っています。

そんな看護職にとって、勤務体制は「安心して働ける職場づくり」に大きく関わってきます。その中でも夜勤体制に関しては、ワークライフバランスへの考え方もそれぞれあり、3交代から2交代への要望も多くあったことから、平成22年度に検討を重ね、平成22年9月から試行、平成23年3月から5階病棟（集中治療室）を除き完全導入となりました。2交代は、休日が有効に使用できることや勤務と勤務の間隔が長くなるため体調管理の面からも支持されてきましたが、16時間という長時間勤務は安全管理の面では大きな課題を残していました。これは、当センターだけでなく日本の看護界で問題として取り上げられてきました。

そんな中、昨年度日本看護協会から「夜勤・交代制勤務ガイドライン」が出されたことで、さらなる勤務体制の見直しの取り組みを行い、これまでの16時間夜勤から12.5時間夜勤へ今年の8月から試行を始めています。今回は、5階病棟も含め病棟すべてで行っており、詳細なアンケートはまだありませんが、夜勤に関しては楽になっているという声が聞かれています。ただし、夜勤時間が短くなったことでロング日勤（12時間勤務）という新しい勤務が必要になりました。日勤から夕方勤務までを引き継ぐロング日勤者の負担が懸念されており、その対応を検討しているところです。

ロング日勤者への負担は予測されていたことではありますが、現状の看護方式ではロング日勤者が、日勤の仕事を残さず夜勤へ切り替えるには無理があり、今回の長時間勤務の改善をきっかけに、看護方式の検討も合わせて行う予定です。看護方式の見直しでは、超過勤務の改善も図りたいと考えており「安心して働ける職場づくり」にさらにつなげていきたいと考えています。職員が安心して働くということは、安心・安全な看護が提供できることにもつながります。大変な中ではありますが、引き続き取り組みを進めていきたいと思っています。



朝礼の様子



病棟ナースステーション



御意見箱

世界糖尿病デー
11/14

天草キリシタン館のライトアップ

天草地域医療センター糖尿病療養指導委員会



日に国連総会で採択しました。同時に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけています。11月14日は国連及び主要国で様々なイベントが開催されています。

2007年11月14日、世界糖尿病デーの制定を記念し、糖尿病の予防と治療に対する啓発をするために、エンパイアステートビルやエッフェル塔、万里の長城など世界約180カ所が糖尿病啓発のシンボルカラーである青にライトアップされました。我国でも、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、国民の方々に呼びかけ活動の輪を広げており、東京タワーだけでなく通天閣をはじめとする全国の多くの建造物がブルーにライトアップされ、各地で協カイイベントや糖尿病の脅威を訴える講演会等が催されました。

天草でも糖尿病啓蒙活動の一環として、当センター糖尿病療養指導委員会が中心となり、2010年から糖尿病週間(毎年11月14日を含む月曜日～日曜日の1週間)に「天草キリシタン館のブルーライトアップ」を行っており、今回は11月11日～17日(18時～22時)までライトアップしました。他にも、天草郡市医師会、歯科医師会や天草市と協力して講演会、無料血糖測定、ウォークラリーなどを世界糖尿病デーにあわせて開催しています。

■今年度の主な取組

1. 10月18日天草生活習慣病研究会の講演会(天草地域医療センター)
2. 10月27日糖尿病ウォークラリー
3. 11月9日天草市健康フェスタにおける無料血糖測定(栖本福祉会館)
4. 11月11日～17日18時～22時まで天草キリシタン館のブルーライトアップ

糖尿病は、2025年には世界で3億8,000万人(2007年より64.7%増)に達すると予想されています。特にアジアでは2倍になると試算されており、我が国でも糖尿病が強く疑われる人は2006年から2007年の1年間で70万人増加し、890万人となりました。このような糖尿病の脅威に対し国連は、「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を2006年12月20



「ブルーサークル」は糖尿病対策のシンボルマークです。

天草地域糖尿病予防フォーラム

糖尿病 ちょっとの努力で 脱メタボ

第56回日本糖尿病学会年次学術集会開催記念

日時／平成26年2月22日(土)

場所／松島町総合センター「アロマ」

参加費無料

フォーラム
14:00～16:00

◆講演
ダイエットのウソホント
～世界の研究から分かった根拠あるダイエット法の話～
講師：上天草市立上天草総合病院 山城医師

◆シンポジウム
あなたも挑戦!「糖尿病Q & A」
専門家がわかりやすく解説します。
〈シンポジスト〉 医師・歯科医師・管理栄養士
保健師・薬剤師・患者代表

上天草市キャラクター
四郎くんがやってくる!!
私もみなさんと一緒に体験します♪
天草体操でみんな健康♪

相談・体験コーナー
13:00～14:00、16:00～16:30

- ◆無料で測ってみませんか?(先着順)
血糖値・血圧・体脂肪・血管年齢
- ◆専門家が悩みや疑問にお答えします。
健康のこと・栄養のこと
歯や歯周病のこと・お薬のこと…など

天草地域糖尿病保健医療連携会議

天草郡市医師会、天草郡市歯科医師会、天草郡市薬剤師会、熊本県看護協会
天草支部、熊本県栄養士会天草支部、天草地域医療センター、天草第一病院
ニュー天草病院、天草市立栖本病院、上天草市立上天草総合病院、全国健康
保険協会熊本支部、天草市、上天草市、苓北町、熊本県天草保健所

熊本大学医学部附属病院

主催

事務局

熊本県天草保健所
☎0969-23-0172

ウォークラリーに参加して

事務局 清田 千草

数年前より糖尿病患者さんの運動療法の一環として当センターにて開催しているウォークラリーに、今年初めて参加しました。このウォークラリーは年齢関係なく、どなたでも参加する事が出来るとあって、毎年、子供から大人まで幅広い方たちに参加していただいています。

当日は見事な秋晴れで、素晴らしいウォークラリー日和になりました。当初は、8キロという長い道のりを、日頃運動不足の私が最後までゴール出来るか不安でしたが、サポートスタッフの皆さんのお



かげで何とかゴールする事が出来ました。今まで、まともにウォーキングをしたことがない私でしたが、秋晴れの空や、紅葉した山々を眺めながら、ゆっくり自分のペースで歩いていると、なんとも清々しい気分になり、あらためてウォーキングの楽しさを痛感しました。そして、何よりウォークラリー後のお弁当を、とても美味しく感じる事ができました(*^_^*)。サポートスタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。ぜひ、来年は、皆様も参加してみたいかがでしょうか?

10/27 糖尿病
ウォークラリー

異動のご挨拶

「お世話になりました」



小児科
辛島 真実

小児科の辛嶋真実です。1年5ヶ月、大変お世話になりました。
天草にきて本当に良かったです。思わず立ち止まってしまうような景色、患者さんやスタッフの暖かい人柄に日々癒されていました。また、開業の先生方とも一緒に小児科勉強会をしたり、佐賀大学の同門会があったりと直接お会いする機会が多く、電話や紹介状だけでなく、顔や人柄が見える関係が築けて素敵な地域だなと思いました。ハイヤや温泉、夕陽など天草lifeを満喫しながら、人に恵まれ、楽しい思い出ができました。10月から東京に小児内分泌の勉強に行ってきます。今後ともよろしく御願い致します。

昨年10月からこちらでお世話になり、早1年。初期研修のため複数の科で研修を行い、とても貴重な経験をさせて頂きました。至らぬ点は多々あったかと思いますが、先生方の熱心な御指導とスタッフの皆様による的確なサポートのお蔭で何とかやっていくことができましたことを、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

再び熊大病院で研修を行います。真摯な姿勢で努力を怠らず、いずれは天草の医療に貢献できたらと考えております。

1年間、本当にありがとうございました。

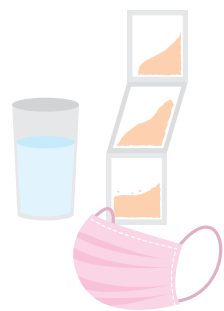


研修医
川上 遥平

「よろしくお願いします」

10月よりお世話になっております、小児科の永松扶紗と申します。熊本市民病院より異動して参りました。未熟な点も多く、ご迷惑おかけすることもあると思いますが、天草地域の小児科の先生方や、他科の先生方、スタッフの方々とも協力しながら、天草の子どもたちの健康を守っていかれたらと思います。また、天草の美味しいものをいろいろ食べられるのが大変楽しみです。おすすめの食材やお店などの情報をぜひ教えてください。

どうぞよろしくお願いいたします。



小児科
永松 扶紗

楽しみながら 頑張ってます！

お花教室

当センターでは、職員を対象に生け花とアレンジメントの2種類のお花教室を開催しております。それぞれ、外部から講師の先生をお呼びして、初心者でも気兼ねなく参加でき、リフレッシュも兼ねてその時々のお花を生けながら、楽しんでおります。



生 け 花
第2・4水曜日 18時～



フラワーアレンジメント
月1回火曜日 18時～

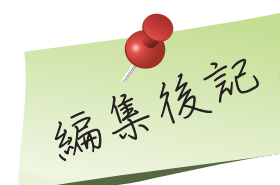


ソフトボール部

放射線 清田 直人

AMC Warblers として開院当初より代々活動しているソフトボール同好会ですが、現在部員は30名を超え、4月から10月の毎週木曜日に楠浦小学校にてわいわい楽しく練習しています。今年新たに3代目となるユニフォームを作成し、8月25日(日)に五和で行われた熊本県労働基準協会主催の職場親善ソフトボール大会では3位と、惜しくも県大会出場を逃しましたが、9月に市営グラウンドで行われたスローピッチ大会では4年ぶりに優勝することができました。今季後半から参加した月曜ナイターリーグでも、レベルの高いチーム相手に2勝1敗といい成績を残せたと思います。今季の活動の締めくくりとして、11月2日(土)に市営グラウンドで天草病院の方との交流試合と懇親会を行いました。

職員の部署間を越えた交流が目的で活動に参加し始めた私ですが、大会などに参加することにより、他の医療・福祉機関や職業団体、各地区のチームとの交流が広がり、天草地域における医療センターの職員であることの立場や責任を改めて自覚しております。来春からも練習・試合に一生懸命取り組み、気持ちよく打ち上げをし、チームとしてより連帯感をもって活動していけるようかんばってきたいと思います。



編集後記
文責 新聞広報委員
清田 千草

新外来棟・ヘリポートが稼働して、あっという間に約三カ月が経ちました。おかげ様で、大きな混乱もなく、職員一丸となって日々頑張っております。ヘリポートの利用も少しずつ増えており、今後は、天草医療圏の救急医療にさらに大きく貢献できるものと期待しております。そして、今回は新外来棟で働く職員の声を掲載させて頂きました。患者様からの声はもちろんのこと、こういった職員1人1人の声も活かしながら、より良い病院作りにつとめていければと思っております。